

**学校名** 上尾市立大石南中学校  
**所在地** 上尾市小敷谷1105  
**電話** 048-726-0511

## 1 本校の概要

本校は今年度40周年を迎えた学校である。上尾市の西部に位置し、荒川に近く、周囲を豊かな自然に囲まれている。

特別支援学級2クラスを含む、全校9クラス238名の小規模校である。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書活動の充実と読書環境の整備

### (2) 実践の概要

#### ア 魅力ある使いやすい学校図書館作り

図書室は、毎日開室し、図書委員が貸出・返却を行っている。書架の見出し版、特設コーナーの設置など、使いやすい学校図書館作りを工夫している。今年度は「本屋大賞」のポップをつけたことで、本を手にする生徒が増えた。



昼休みの開室には、平均30人は訪れる。また長期休業中は部活動ごとに学習に来る生徒も多い。今年度は、冬休みに3年生が自習室として毎日利用していた。

	図書室来室者数	貸出冊数
1学期	1415人	277冊
2学期	1714人	177冊
計	3129人	454冊

#### イ フリーライブラリーの設置

職員室前の廊下に設置している。上尾市子どもの読書活動支援センターからのあっぱいぶつくるセット本や、寄贈された本、古書店で購入した文庫本を置き、気軽にいつでも利用できるコーナーとしている。

## ウ 新聞の活用

平成25年度から上尾市教育委員会より各学校に新聞が2紙配達されることに伴い、新聞コーナーを設置した。PTAの予算で地元紙と中高生新聞(週1)もとっており、4紙が閲覧できる。図書支援員さんによる記事の掲示コーナーは図書室の外にも設けている。

## エ 授業での活用

今年度は、2年生の国語の授業で本の紹介カードを作成し、優れた作品を図書室内に掲示した。その作品を一年生に鑑賞、投票をさせた。一年生の感想に「わかりやすい」「どれも読んでみたい」というものが多かった。掲示物の下に、紹介された本を実際に展示したら、早速借りた生徒がいた。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ア 朝読書は時間になると、図書委員は教室の前に座り声かけをし、どのクラスも静かに行っている。

イ 立候補で図書委員になる生徒が多い。また、昼休みの開室を楽しみにしている生徒も増え、足の運びやすい場所になっている。昨年より生徒数が減少しているが、来室者は昨年より増加している。

### (2) 課題

生徒は、朝読書を継続することで本に親しむようになってきたが、ライトノベルズや、漫画・映画を小説化したものを読む傾向にある。もっとさまざまな分野の書物に目を向けるようにさせるためにも、授業での図書室の利用を増やす工夫が必要と思われる。